

若江校区福祉委員会

I. 地域の概況

校区人口	11,994人	世帯数	5,490世帯	65歳以上人口	3,377人	高齢化率	28.1%
自治会数	若江東・若江第2東・若江西・若江南・若江中・若江北・若江西新町						
7							

(参考：H30年度 市統計課データ)

II. 組織・運営体制

福祉委員数	54人
構成団体/個人	自治会 民生委員児童委員 防犯委員 青少年指導員 青少年推進委員 老人会 地域推進委員 スポーツ推進委員 宮司 母子福祉会 遺族会 子供会 福祉ネットワーク会 校長 園長 ほか
主な活動拠点	若江公民分館・若江西新町公民館 ほか

III. 小地域ネットワーク活動

◇個別援助活動

見守り・声かけなど	実施している
-----------	--------

◇グループ援助

活動名	名称	日時(定例日)	場所	対象	費用	備考
いきいきサロン活動	食事会	毎月1回	若江公民分館	ひとり暮らし高齢者	無料	8月を除く
いきいきサロン活動	食事会	年4回	若江西新町公民館	ひとり暮らし高齢者	無料	
介護予防事業		年間6回	若江公民分館	ひとり暮らし高齢者	無料	

◇その他の活動

各種調査(高齢者・金婚式イベント・婚対象夫婦・交通遺児など) ほか

IV. 敬老事業

祝品の配布をしている

V. 歳末たすけあい事業

食事会を実施している

若江校区

若江校区は、若江岩田駅南側で八尾市と隣接しています。昔は、河内国若江郡と呼ばれ南北朝鮮時代から安土桃時代の約200年間にわたっての城下町であり、若江鏡神社は雷神を祭る古い社があり、お祭り際には大変賑わいも見せています。

最近では、田畑も減り、マンションや戸建ての住宅も増え、単身世代、少子高齢化が徐々に進んできてるなか、若江校区福祉委員会としては、繋がり、誰かが安心して住み続けられるまちづくりを目指して小地域ネットワーク活動に取り組んでいます。

若江校区では、「誰かが安心して住み続けられる町」を目指しています。

若江公民館では

毎月若江校区では「ネット食事会」と言って、独り暮らしの高齢者を対象に開催しています。参加者からも好評です。声掛けをしていくことで、少しずつ人数も増えてきえます。季節のものを取り入れるなどいつも工夫されています。



食事会の様子

クリスマス会では、サンタさんと一緒に手遊びを楽しみました。

若江西新町自治会館では

食事会を楽しまれています。その後はカラオケを楽しまれます。



世代間交流の様子

若江小学校では、5年生対象に「高齢者疑似体験」を校区福祉委員長はじめ地域の自治会・民生委員児童委員・、地域包括アンパス東大阪の協力のもと、開催しています。委員長より昔話の体験を交えてのお話しもして頂いています。

食後の介護予防事業の様子

地域包括支援センターアンパス東大阪より介護予防の健康講座や薬剤師さんからの薬のお話し、理学療法士による脳トレ体操,等を行いました。



つかみづらい体験

聞こえづらい体験

手足がまがりづらい体験

白内障体験

介助者に支ええもらって、視野狭窄の体験